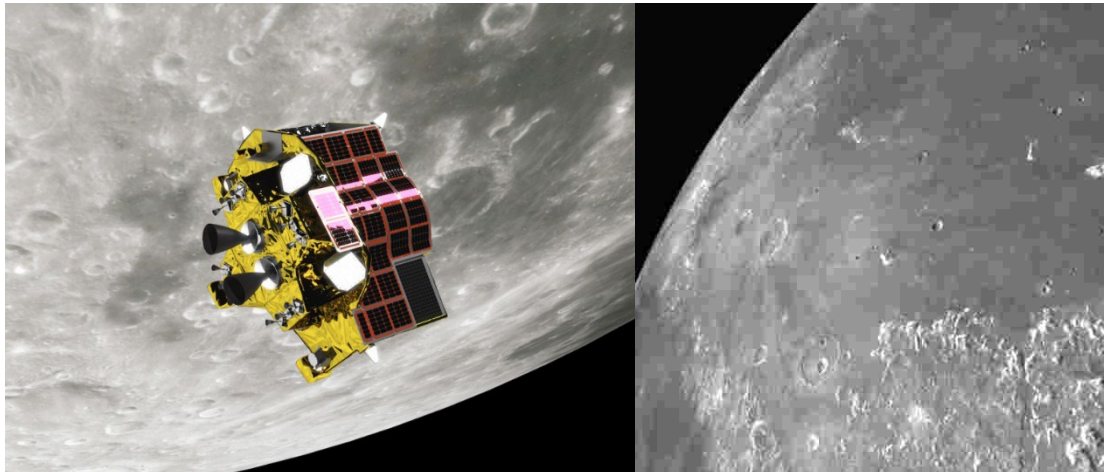


2024年1月22日

株式会社オハラ

当社光学ガラスが小型月着陸実証機「SLIM」の 航法カメラ、分光カメラに採用



SLIM/クルージングフェーズ

月近傍のSLIMから送られてきた画像

提供：JAXA

株式会社オハラ（本社：神奈川県相模原市、代表取締役社長執行役員：齋藤弘和）の光学ガラスが、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）が2023年9月7日に打ち上げた小型月着陸実証機「SLIM」（Smart Lander for Investigating Moon）の航法カメラに採用され、この航法カメラによる画像航法により高精度に自身の位置を推定しながら、月面上に無事着陸することができました。

今回の着陸は、当社の『クリアセラム™-Z』が採用された月周回衛星「かぐや」（打上げ：2007年9月14日）等で撮影した月面画像から作成された地図やデータと「SLIM」搭載の航法カメラで撮像した画像をマッチングすることで、着陸を実現したものです。月面着陸は世界で5か国目（米国、ロシア、中国、インド、日本）であり、目標地点へのピンポイント着陸は現在確認中ですが、成功が確認されれば世界初の偉業となります。また、月面着陸後には月の起源を解明するために岩石を分析することとなっていますが、その分光カメラのフィルターガラスにも当社の光学ガラスが採用されております。

オハラの光学ガラスは、アポロの月面着陸をはじめ長年にわたり宇宙に関わる探査に貢献してきました。近年では各国で民間企業による宇宙利用、宇宙開発が盛んに進められ、宇宙への関心がますます高まっています。

当社は宇宙開発に欠かせないキーマテリアルとなる先進材料を提供することで引き続き宇宙開発に貢献してまいります。

◆JAXA 小型月着陸実証機「SLIM」ウェブサイト https://www.jaxa.jp/projects/sas/slim/index_j.html

「SLIM」は具体的には以下の二つの目的を達成することで、将来の月惑星探査に貢献することを目指しています。

- ・ 小型の探査機によって、月への高精度着陸技術の実証を目指す。
- ・ 軽量の月惑星探査機システムを実現し、月惑星探査の高頻度化に貢献する。

【会社紹介】

当社は 1935 年の創業以来、光学ガラスのリーディングカンパニーとして、デジタルカメラをはじめとした各種光学機器向けのガラス素材を開発・供給しています。

また、光学ガラスで培ったナノテクノロジー技術をもとに、様々なガラスセラミックスの開発も行っており、『クリアセラム™-Z』のほか、耐衝撃・高硬度クリアガラスセラミックス『ナノセラム™』や、リチウムイオン伝導性ガラスセラミックス『LIGGC™』等を展開しています。

【会社概要】

社名 株式会社 オハラ
所在地 〒252-5286 神奈川県相模原市中央区小山 1-15-30
代表者 代表取締役社長執行役員：齋藤弘和
事業内容 光学ガラス・特殊ガラスの製造・販売
資本金 58 億 5 千 5 百万円
従業員数 462 名
TEL 042-772-2101（代）
FAX 042-774-1071
MAIL sale@ohara-inc.co.jp
URL <http://www.ohara-inc.co.jp/jp/>

**【本件に関するお問合せ】**

株式会社オハラ
光製品事業部 光製品営業部
担当 永岡 敦
MAIL a_nagaoka@ohara-inc.co.jp